



安平町地域包括支援センターの山口寛子です。今回は認知症についての考え方と安平町内で行われている事業についてご紹介します。

## ～認知症とは～

病気などが原因で脳細胞が死んだり、働きが悪くなったことにより、様々なしょうがいが起こり、生活や対人関係に支障が出ている状態をいいます。認知症の方は平成30年には全国で500万人を超え、65歳以上の高齢者の約7人に1人が認知症と見込まれており、多くの人にとって誰もがなりうる身近なものとなっています。

## ～認知症についての基本的な考え方～

認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指すため、昨年6月に国から「共生」と「予防」を車の両輪とした対策への指針である「認知症施策推進大綱」が示されました。

### 「共生」とは

認知症の方が尊厳と希望を持って認知症とともに生きる、または認知症があってもなくても同じ社会でともに生きるということ。

### 「予防」とは

「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を穏やかにする」ということ。

町では、認知症の方やそのご家族が、この住み慣れた町で安心して生活することができるよう、以下の事業や取り組みを行っています。

事業名	内容
認知症サポーター養成講座	認知症の基本的な知識について学びます。講座を受講した方にはオレンジリングをお渡ししています。町内では500名を超える方が受講されています。開催日は広報にてお知らせします。
認知症サポーターフォローアップ研修	認知症サポーター養成講座を受けた方を対象に開催しています。開催日は広報にてお知らせします。
認知症地域支援推進員	認知症の早期発見・早期対応のため医療機関、介護サービス事業所、町内会などと連携して支援体制づくりを行うため地域包括支援センターに配置しています。
認知症初期集中支援チーム	認知症サポート医と地域包括支援センターの保健師・社会福祉士にてチームを設置しています。認知症の方や介護をしている方を支援します。
徘徊高齢者等SOSネットワーク事業	徘徊が見られる認知症の高齢者等が行方不明になった場合に、早期発見・保護できるように協力員及び協力機関とネットワークを構築し、所在不明になった方とその家族の支援を行います。
オレンジカフェ (認知症カフェ)	認知症の方や家族・知人・福祉医療専門職・その他認知症について気になることがある方が気軽に集まり交流を楽しむ場として開催しています。 日時：第3水曜日 13時～14時30分 場所：みなくる 料金：無料
地域のサロンや老人クラブなど	地域での交流が認知症予防に効果的であると言われていています。お近くのサロンなどの情報は地域包括支援センターまでお問合せください。



認知症についてのご相談などはお気軽に地域包括支援センターまでご連絡ください。